

藤枝市長

北村正平 様

藤枝市行政施策に関する

要 望 書

令和2年9月18日

藤枝商工会議所
会頭 山田 壽久

藤枝市行政施策要望

1. 新型コロナウイルス感染症対策に関する事業所支援の推進

藤枝市には、新型コロナウイルス感染の防止対策を講じられ、また、地域産業への影響を軽減する施策についても、国・県と連携し、さらには、市独自でも取り組まれるなど、迅速に対応いただいています。

こうした中においても、感染拡大の長期化により、飲食業をはじめとする各業種は、なお厳しい状況に置かれています。つきましては、地域経済の回復に向け、次の各施策を総合的かつ継続的に推進されるようお願いいたします。

- ① 商品券事業をはじめとする地域の消費喚起
- ② 国の中小企業生産性革命推進事業と連携した市の助成制度の期間延長及び感染症防止設備への助成などの設備投資等に対する支援
- ③ 県の感染症対策に伴う助成制度と連動した市による支援の拡充
- ④ 静岡県「経済変動対策資金(新型コロナウイルス感染症対応枠)」の利子補給期間の延長など資金繰りの支援
- ⑤ 開業チャンス応援事業の空き店舗対策の対象区域についての商店街エリア以外への区域拡大をはじめとするテナント事業者の事業環境の整備

2. 小規模な工場新設・移転の支援に向けた「藤枝市設備投資等奨励補助金」の要件緩和又は小規模工場の新規立地等を対象とした新たな支援制度の創設

藤枝市では、県と連携し用地取得・新規雇用、新たな設備投資を対象とした各種の優遇制度を設け、企業誘致を積極的に推進されています。

地域の中小企業には、高い独自技術を有して、小規模ながら重要な役割を担っているのも多くあり、このような企業の立地・発展は、地域産業全体の一層の振興につながるものと考えます。

つきましては、中小企業の投資の一層の活発化に向け、「設備投資等奨励補助金」の要件の緩和、補助率や限度額の拡充をはじめ、新規立地を促す支援制度の創設を図られるようお願いいたします。また、県の新規産業立地事業費補助金の工場等の対象条件5億円以上とある要件の緩和を働きかけられるよう併せてお願いいたします。

3. 屋外広告物の設置規制緩和及び許可申請の手数料負担の軽減

藤枝市は、屋外広告物について、静岡県屋外広告物条例等の定める基準により許可事務を行い、景観形成などにご尽力いただいています。

県条例では、自社の施設に設ける自家広告物についても規格などを制限し、一律的な運用により、企業の認知度向上や営業活動の妨げになる場合があります。また、許可の申請・更新に伴う手数料の負担も生じています。

藤枝市は、既に景観行政団体に移行しており、屋外広告物についての独自の条例を定めることができるものとされています。つきましては、県との協議の上、屋外広告物に関する市条例を定め、地域の実情に応じた基準を設け、柔軟な運用を図られるようお願いいたします。あわせて、許可事務の実経費に応じて手数料を見直し、申請者の負担軽減を図られるようお願いいたします。

4. 地域の活性化に向けた蓮華寺池公園のさらなる活用

蓮華寺池公園については、「花と水と鳥と笑顔」を新たなテーマに、誰もが安全・安心に利用できる公園として再整備が進められ、四季をとおして市民の憩いの場となっています。また、当所や関係団体で要望いたしました旧藤枝茶貿易商館の蓮華寺池公園への移転・活用についても、早速、取り組まれ感謝いたします。

こうした市の取り組みにより、来園者が年々増し、観光交流拠点としてのポテンシャルも高まっています。つきましては、地域の活性化に向け、利用者の利便向上や賑わい創出につながる管理・運営、岡出山公園の整備と併せた周辺商店街への回遊性向上などにより、さらなる活用を推進していただきますようお願いいたします。

5. 総合運動公園サッカー場の整備等の推進

総合運動公園サッカー場については、藤枝MYFC のホームゲームをはじめ、各カテゴリーにおいて大会などが開催され、「サッカーのまち藤枝」の拠点として大いに活用されています。藤枝MYFC は、J2昇格に向けた機運が高まりライセンス取得を申請され、その中でスタジアム改修等を求められていると伺っております。また、近年、多発する自然災害に備えるため、サッカー場等の防災機能の充実も期待されています。

つきましては、サッカー場の改修整備を推進し、サッカーのまちのシンボルとして、また、防災拠点としても一層の活用を図られるようお願いいたします。また、かねてより要望しております多目的広場への避難場所の整備についても、あわせてお願いいたします。

6. スマート自治体の実現と中小企業・小規模事業所におけるデジタル化革新の推進支援

国は、行政手続のデジタル化を加速し、国・自治体を通じたデジタル基盤の標準化などを実施することとしています。また、社会全体のデジタルトランスフォーメーションが図られようとしています。企業間取引や消費行動の非対面化、生産・物流の現場での IoT・AI やロボットの導入、社会資本整備におけるデジタル施工管理など、様々な場での革新が進むものと考えます。あわせて、行政手続や会計手続の書面主義、押印主義、対面主義といった制度や慣行が見直されようとしています。

藤枝市においても、デジタル化の一層の推進や行政手続・慣行の見直しにより、スマート自治体の実現を図るとともに、市内中小企業のデジタル化やリモートワークの促進に向け、コスト負担、人材確保、業務改革などの課題に対する総合的な支援を図られるようお願いいたします。

7. 内陸フロンティア事業の推進と新産業産地へのさらなる産業集積

藤枝市が構想する新産業地ゾーンにおいては、内陸フロンティアパーク藤枝たかたの整備が進められ、企業集積による地域の活性化につながるものと期待しております。

その一方で、藤枝市内への立地意向がある製造・流通業の企業が用地の取得に苦慮しております。

つきましては、他の新産業地ゾーン等における地区計画制度の活用、基盤整備など行い、工業用地の確保を図るよう要望します。

8. 道路等の整備、渋滞緩和等

幹線道路をはじめとする交通基盤は、物流ネットワーク充実による企業活動の活性化をはじめ、観光・交流の拡大、救急医療の搬送対応など、整備によるストック効果は大変高いものがあります。

現状では、交通渋滞が市内各所でみられ、渋滞による経済損失や市民生活への影響、さらには交通事故リスクが懸念されます。

つきましては、次のとおり道路等の整備、渋滞緩和の対策に取り組まれるよう要望します。

- ① 国道1号藤枝バイパス4車線化の早期完成に向けた国県への働きかけ
- ② 都市計画道路志太中央幹線の県道島田岡部線(旧国道1号)以南の整備、大井川はばたき橋の4車線化に向けた県等への働きかけ

9. 地元事業者の積極的活用及び受注機会の確保について

市では地元業者の受注機会の確保に尽力されているが、中小・小規模企業の経営環境は、依然として厳しい状況にあります。ついては、従来に益して安定した公共事業実施のための予算措置、工事発注や物品・サービス購入に際しての地元事業者への優先的な受注機会の提供を要望します。

10. 大規模小売店舗等大企業に対する商工会議所への加入の働きかけ

市内に立地する企業、大規模店舗、チェーン店等の各種届出時や補助金申請時には、商工会議所・商工会への加入、地域事業所との連携を行うよう指導をされるよう要望します。

11. 東名高速道路大井川焼津藤枝スマートインターチェンジ周辺の土地利用について

東名高速道路大井川焼津藤枝スマートインターチェンジ周辺をはじめとする開発ポテンシャルが高い地域における大規模な土地利用は、施設の内容・規模により地域経済等への影響が広範囲に及び、まちづくりや商業・農業等多分野の振興に大きな課題となることが懸念されます。

こうした大規模土地利用については、市町間の調整や地域の事業所・住民の理解が必須となります。広域の見地から県等の調整を求めつつ、周辺地域全体にメリットとなる土地利用の保全・活用が図られるよう十分な協議の上、進めていただくよう要望します。

以上